

2023 年度

大学院学生募集要項

博士前期課程  
(9月入試)

青山学院大学  
大学院理工学研究科

## 青山学院教育方針

青山学院の教育は  
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、  
神の前に真実に生き  
真理を謙虚に追求し  
愛と奉仕の精神をもって  
すべての人と社会とに対する責任を  
進んで果たす人間の形成を目的とする。

## 青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、  
神と人にとり仕え社会に貢献する  
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。  
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって  
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。  
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。  
本学のすべての教員、職員、学生は、  
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、  
おのれの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

### 個人情報の取り扱いについて

出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、生年月日等の個人情報は、  
①願書受付、②入学試験実施、③合格発表、④入学手続きとこれに付随する  
業務を行うために利用します。

## アドミッションポリシー(入学者の受入れ方針)

### 《博士前期課程・修士課程》

本学大学院博士前期課程・修士課程では、各専攻が求める人材を、さまざまな形式の入学試験を通して以下の能力等に照らして受け入れる。

- ・当該専攻の研究に必要な専門知識・専門技能
- ・課題に対して論理的に思考、判断し、自身の考えを的確に口頭で、かつ文章によって表現する能力
- ・本大学院の特徴を理解し、大学院における学びを追求し、社会のために還元する意欲・関心・態度

### 《理工学研究科》

#### 【基礎科学コース】

##### ①知識・技能

- ・専門フロンティアプログラムでは、専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、物理科学または数理サイエンスを学び研究するための基礎学力がある。
- ・複合フロンティアプログラムでは、幅広く専門知識を身に付けるための基礎学力および大学卒業相当の外国語の知識がある。

##### ②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

##### ③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、物理学・数学に興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

#### 【化学コース】

##### ①知識・技能

- ・専門フロンティアプログラムでは、専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、化学の基礎が理解できる。
- ・複合フロンティアプログラムでは、幅広く専門知識を身に付けるための基礎学力および大学卒業相当の外国語の知識がある。

##### ②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

##### ③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、化学および科学技術と社会との関係に興味があり、専門知

識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

#### 【機能物質創成コース】

##### ①知識・技能

- ・専門フロンティアプログラムでは、専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、材料科学の基礎が理解できる。
- ・複合フロンティアプログラムでは、幅広く専門知識を身に付けるための基礎学力および大学卒業相当の外国語の知識がある。

##### ②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

##### ③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、材料科学に興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

#### 【生命科学コース】

##### ①知識・技能

- ・専門フロンティアプログラムでは、専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、生物学、分子生物学、生化学、生物物理学、生命情報科学、生体分析化学などの基礎が理解できる。
- ・複合フロンティアプログラムでは、幅広く専門知識を身に付けるための基礎学力および大学卒業相当の外国語の知識がある。

##### ②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

##### ③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、生命科学に興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

#### 【電気電子工学コース】

##### ①知識・技能

- ・専門フロンティアプログラムでは、専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、電気電子工学の基礎が理解できる。
- ・複合フロンティアプログラムでは、幅広く専門知識を身に付けるための基礎学力および大学卒業相当の外国語の知識がある。

##### ②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、電気電子工学及び関連分野に興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

【機械創造コース】

①知識・技能

- ・専門フロンティアプログラムでは、専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、機械工学の基礎が理解できる。
- ・複合フロンティアプログラムでは、幅広く専門知識を身に付けるための基礎学力および大学卒業相当の外国語の知識がある。

②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、ものづくりに興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

【知能情報コース】

①知識・技能

- ・専門フロンティアプログラムでは、専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、情報テクノロジー関連分野の基礎が理解できる。
- ・複合フロンティアプログラムでは、幅広く専門知識を身に付けるための基礎学力および大学卒業相当の外国語の知識がある。

②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、情報テクノロジーに興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

【マネジメントテクノロジーコース】

①知識・技能

- ・専門フロンティアプログラムでは、専門分野を学ぶ上で必要な外国語、数学、専門科目などについて内容を理解し、大学卒業相当の知識を有し、経営システム工学の基礎が理解できる。
- ・複合フロンティアプログラムでは、幅広く専門知識を身に付けるための基礎学力および大学卒業相当の外国語の知識がある。

②思考力・判断力・表現力

- ・大学卒業相当のレベルで、物事を多面的かつ論理的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現し、伝えることができる。

③意欲・関心・態度

- ・コースの特徴を理解した上で、マネジメントテクノロジーに興味があり、専門知識や専門スキルを活用して社会に貢献しようとする意欲があり、興味を持っている。

理工学研究科および各専攻の教育研究上の目的・カリキュラムポリシーおよびディプロマポリシーは、以下の本学ウェブサイトにてご確認ください。

[http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate\\_science/](http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_science/)

## 青山学院大学大学院理工学研究科 教育研究上の目的

### 人材養成上の目的

人類世界の存続と、更なる発展を可能とするために、豊かな自然環境の保全と平和で活力ある社会環境の創生が求められている。これらの理想を実現するためには理学と工学に基礎を置いた“科学・技術”の革新と展開が不可欠である。このような社会的要請に応えうる人材は、関連する専門分野における確たる基礎力の上に築かれた深い洞察力と高い実行力を有するだけでなく、その周辺の学問分野も含めて広く人類社会を俯瞰する視野と自然環境に対する謙虚な姿勢を堅持している必要がある。

理工学研究科（以下「本研究科」という。）では、キリスト教の精神に基づいた本学の行う教育基盤に立って人格を陶冶し、専門の学術の教授・訓練を通して精深な学識と研究能力を養うとともに、堅実な社会人として国際的にリーダーシップを発揮し、「地の塩、世の光」として文化の発展・創生に寄与し得る人物の養成を目的とする。

博士前期課程では、学部教育における人間形成のための幅広い教養並びに専門的教養基盤に立って、専攻分野における基礎力・応用力の充実はもちろんのこと、研究分野に関わる精深な学識と研究への真摯な姿勢と能力を養う。

博士後期課程では、前期課程での教育成果の上に、独創的研究を通して従来 of 学術水準に新しい知見を加え、文化の発展・創生に寄与するとともに、専門分野におけるこれからの研究を先導し得る能力を養う。

### 学生に修得させるべき能力等の教育目標

博士前期課程では、質の高い専門科目及び社会への視野を広めるための専門科目に加えて実践的英語教育科目をバランスよく配置することにより、専門分野における深い知識と応用力ばかりでなく、国際的な場で研究を発表し討論する語学力と社会及び環境に対する広い視野や高い倫理観に基づく判断力とを同時に養成する。また、修士論文の研究指導を通して問題解決能力と問題発見能力を身につけさせることを目標とする。

### 体系的な教育の課程

これからの科学技術の発展を担う人材は、各分野における深い専門知識と他の専門分野の素養を併せ持ち、幅広い視野に立って研究を遂行し、応用力を発揮できる人物でなければならない。本研究科では、そのような特性を持った人材を育成すべく、従来 of 学問分野の壁を取り去り、1 専攻 8 専修コースの構成にしている。授業科目においても、専攻共通科目として、科学技術英語、科学技術倫理、環境、福祉などの、視野の拡大と優れた人格形成に有用な科目を配置している。1 専攻 8 専修コースの構成により、

- (1) 大学における卒業学科に関わらず、興味を持つコースに進学できる。
- (2) 理工学専攻の共通科目と専修コース科目及び他コース科目をバランスよく履修できる。
- (3) 従来 of 学問分野の壁を越えた協力体制のもとで最先端の研究を遂行できる。
- (4) 学際領域や新しい学問領域を研究対象にすることができる。

などの特色を持たせている。また、教育プログラムとして専門フロンティアプログラムと複合フロンティアプログラムの2種類を設け、専門フロンティアプログラムは高度な研究と応用を担う人材の育成を目的とし、複合フロンティアプログラムは科学技術を広い視野に立って正しく評価し、社会に発信できる人材の育成を目的とする。

本大学院は本学建学の精神に則り、研究科の課程の目的に応じ、高度かつ専門的な学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与する人物を養成することを目的とします。

## 教育研究環境の整備について

(1) 現状の恵まれた施設・設備環境の活用に加え、学部附置機関である「機器分析センター」「先端技術研究開発センター」「先端情報技術研究センター」、大学附置機関である「総合研究機構」「情報メディアセンター」との緊密な連携を図る。

(2) 文部科学省等の省庁及び公的機関が公募する、教育・研究プロジェクト採択に向けて学部・研究科全体として取り組む。

(3) 研究領域の拡大と大学院教育の多様化を目的とした制度として、独立行政法人・私立等の研究所と協定に基づき連携して研究教育を行う連携大学院方式を整備している。北里大学医学部とは独自に研究協力協定を結んでいる。これら他研究機関との人的・物的交流について、その成果を総括するとともに、さらなる連携について検討し、幅広い研究・教育システムを確立していく。

(4) 教員個々の研究活動の充実を図るべく、自己点検・評価活動を充実させ、研究活動の公開と学部・専攻内の連携をさらに強化する。

### (1)コース制度

理工学研究科は全体を1つの専攻（理工学専攻）とし、その中に8専修コースを設けています。専修コースの内容は以下のとおりです。

#### ① 基礎科学コース

自然科学の基礎である数理科学、理論物理学（物性、固体、宇宙など）、実験物理学（原子・分子、凝縮系、宇宙など）を中心とし、さらに数理生物学、複雑系、地震やレオロジー、量子多体系、量子制御、スピントロニクスなど新分野へも視野を広げています。これら専門分野の研究に携わることは自然科学の神髄に迫る醍醐味を味わうことでもあり、同時に、山積する多種多様で千姿万態な問題の中から本質的な課題を見つけ出し、モデルを構築してそれを解決する能力を養うことにも通じます。深い教養に裏打つけられた知性に富む、自律的、能動的、かつ直感力に優れた人材を涵養します。

#### ② 化学コース

物理化学、有機化学、無機化学の3分野で構成されています。分子および分子集合体を対象にして、化学本来の視点から研究を遂行し、幅広く深い化学的素養を身につけた人材を育成します。

③ 機能物質創成コース :

新機能を持つ物質の創成を中心に、物質設計やデバイス作製等の応用も視野に入れた総合的な研究を行うことを目的としています。物性物理学、固体化学、物質科学、薄膜工学、電気物性工学、表面科学等のいずれかを基礎におきつつ、分野を横断し幅広い知識に精通した、最先端の物質科学を行う人材を育成します。

④ 生命科学コース :

生命科学の急速な進歩は、新たな学問領域や産業領域を切り拓き、社会に対しても大きな影響を与えつつあります。生命科学コースでは、この広い領域の共通基盤となる知識を身に付け、生命現象を担う分子の構造、機能、およびその調節機構の研究を通して、自ら研究を進める能力の育成を目指しています。また、理工学専攻中の生命科学という特色を生かし、医薬品、食品などの既存分野だけでなく、生命科学領域をフロンティアとする新しい技術の開発にも貢献できる人材を育てたいと考えています。

⑤ 電気電子工学コース :

回路系から情報通信系、材料・物性系まで広い研究分野の研究室がそれぞれ大学院生を受け入れています。技術者、研究者を目指す者として、現代社会の基盤を支えるエネルギー分野、計測・制御分野、情報・通信分野、電子デバイス分野、材料・物性分野、またそれらの関連分野を対象に学習、研究を進めています。研究指導を重視し、それらを通して自ら考える能力、発見能力、問題解決能力の育成に努めます。技術者、研究者を目指す者として大学院で何を追究したいのか、目的意識をはっきりと持って進学してもらいたいと思います。

⑥ 機械創造コース :

本コースは、人類の持続的発展に役立ち、優れた機能を持つ機器やシステムを創造する研究者と技術者を養成します。すなわち、エネルギー・環境・安全・倫理に対する広い視野に立って、ものの形や機構と力学的作用を深く理解させる教育・研究を行います。さらに、機械に代表されるハードと知能に代表されるソフトとの融合を図り、進んだ情報処理能力、高度な計測技術と解析技術を修得させ、研究指導を通じて総合力を養い、自ら問題発掘と解決のできる学生を育てます。

⑦ 知能情報コース :

知能情報コースの教育と研究はデータサイエンス、知識処理、コンピュータ・ビジョン、ロボティクス、コンピュータグラフィックス、コンピュータヒューマンインタラクション、ウェアラブルコンピューティング、ネットワーク技術とウェブ技術を含む計算機や情報に関連する幅広い分野を網羅している。新しい技術の創造と習得、ならびに人間社会内のその技術の役割の理解がコースの目的です。

⑧ マネジメントテクノロジーコース :

製品ライフサイクル、生産システム、サプライチェーン、経営技術、環境経営、品質経営などの現代社会が抱える問題領域について、データ分析技術、モデル化技術、最適化技術の観点に立ったそれらのマネジメントに必要な概念・方法論・システムの構築とその運用を学び、研究します。経営システム工学科のみならず他学科、他学部の卒業生

の受け入れを歓迎する方針です。

## (2)教育プログラム

理工学研究科では、各専門における深い知識、研究能力を持つ人材を育成する教育とあわせて、理工学分野の最先端の成果を正しく評価し、社会に発信できる人材を育成する教育をもめざしています。そのために、博士前期課程の教育プログラムとして、**専門フロンティアプログラム**と**複合フロンティアプログラム**の2種類を設けています。

**専門フロンティアプログラム**は従来の博士前期課程で実践されてきたように、各専門分野での最先端の研究をおこない、それに基づいた修士論文を提出して修了することをめざす教育プログラムです。これは理工学の特定の学問領域について深く学び、その分野の第一線の研究および応用を担う人材を育成することをめざすものです。

**複合フロンティアプログラム**は複数コースの専門分野を広く学び、社会・文化と科学・技術のかかわりなど科学・技術に関する調査・分析をまとめた修士論文を提出し、博士前期課程を修了する教育プログラムです。つまり科学技術の成果に対する社会活動面からの評価、および科学・技術に対する社会経済活動からのニーズ等を評価できる人材の育成が目的です。修了後の進路としては、例えばシンクタンク、ジャーナリズム等への就職を想定しています。

## (3)コース兼任担当制度について

本学大学院理工学研究科の教員である者のうち、以下の①②の両方に該当する者は、コース兼任担当（コース兼任）の資格者です。本研究科教員は、入学試験合格者の希望に基づき、本研究科での資格審査で承認された場合、コース兼任担当者となることができます。入学を希望する専修コースと、希望する研究指導教員の所属専修コースが異なる場合は、出願時に希望する研究指導教員に必ず申し出てください。

- ①専門とする研究が、他コースの研究分野を跨ぐ、境界領域に発展している教員。
- ②分野を跨ぐ境界領域での研究を主題とする学生が、研究指導を希望している教員。

**博士前期課程に出願する者は、予め希望研究指導教員と面談し、その了解を得てどちらかの教育プログラムを選択しなければなりません。**

## 学 位

本大学院において授与する修士の学位は次のとおりです。

理工学研究科理工学専攻 博士前期課程 修士（理学）、修士（工学）または修士（学術）

## 募集人員

理工学専攻  
博士前期課程

基礎科学コース  
化学コース  
機能物質創成コース  
生命科学コース  
電気電子工学コース  
機械創造コース  
知能情報コース  
マネジメントテクノロジーコース

各コース若干名

(注3) すべてのコースは、「専門フロンティアプログラム」と「複合フロンティアプログラム」両方の研究指導教員で構成されています。

## 出願資格（研究指導を希望する教員から予め承認を受けた後、出願してください）

以下の1.～9.のいずれかに該当するもの。

1. 大学を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者
2. 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2023年3月取得見込みの者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2023年3月修了見込みの者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2023年3月修了見込みの者
5. 日本において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2023年3月修了見込みの者
6. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2023年3月修了見込みの者
7. 文部科学大臣の指定した者
8. 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に22歳に達した者
9. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたものによる評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者

注意：上記4.～8.により出願を希望する者は、相模原事務部学務課に問い合わせのうえ、個別の入学資格審査に必要な書類を、次項の指定期日までに提出すること。出願資格9により出願を希望する者は、出願時に学位取得証明書を提出すること。

## 出願資格審査

出願資格4.～8.のいずれかにより出願しようとする者は、出願書類を提出する前に出願資格認定のための審査を受ける必要があります。この場合、事前に相模原事務部学務課理工学研究科担当に連絡し、次の書類を提出してください。

出願資格審査申請期間： 2022年6月22日（水）まで

- 提出書類： (1)入学志願票（本学所定用紙）  
(2)最終学歴の成績証明書  
(3)最終学歴の卒業証明書あるいは在籍証明書  
(4)出願資格審査申請書（様式は任意）

学習歴・実務経験・研究歴等を記載し、資料を添付して下さい。

※・提出書類は必ず書留郵便とし、出願資格審査書類在中と朱書きしてください。

- ・(1)～(3)については、出願資格審査認定後、出願書類として取り扱いますので、出願時に再提出する必要はありません。

## 出願書類

1. 入学志願票及び受験票（本学所定用紙）
2. 成績証明書
3. 最終出身大学の卒業（見込）証明書（本学出身者は不要）  
\*出願資格9により出願する者は、学位取得証明書を提出のこと。
4. 写真1枚（脱帽上半身、背景なし、ﾀﾞｲ4cm×ｺﾞｺ3cm、最近3ヵ月以内撮影、入学志願票の所定欄に貼付）  
\*外国籍者は外国人登録済証明書を提出してください。
5. 入学検定料「収納証明書・振込通知書」貼付用紙  
入学検定料の「収納証明書」<コンビニエンスストア・クレジット支払の場合>または「振込通知書(大学院提出用：金融機関の収納印の押されたもの)」<銀行振込の場合>を、収納証明書・振込通知書貼付用紙(本学所定用紙)に貼り付け提出してください。  
\*入学検定料の支払い方法については、冊子後半を参照してください。
6. 研究計画書（複合フロンティアプログラム志願者のみ提出）  
研究計画書は、以下の題目について各々1,000字程度（書式は自由）にまとめたもの。  
A)これまでの勉学、または研究内容(卒業研究を行なっている場合はその内容を中心に)。  
B)志望動機、複合フロンティアプログラムでの学習・研究についての計画。
7. 受験票返信用封筒（郵送受取希望者のみ）  
受験票を郵送にて受取希望の者は、切手貼付、送付先記入のうえ、返信用封筒を出願書類に同封すること。
8. レターパックライト（入学手続書類発送用）  
レターパックライト（370円）を、各自でご用意の上、「お届け先」の欄に入学手続書類発送用の宛先を記入して提出すること。

## 入学検定料

35,000円

1. 入学検定料は下記のいずれかの方法でお支払いください。

・コンビニエンスストアでの支払い

「コンビニ端末での入学検定料支払方法」を参照のうえ、コンビニエンスストアのレジで入学検定料をお支払いください。その際発行される「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、収納証明書・振込通知書貼付用紙（本学所定用紙）に貼り付け提出してください。

・クレジットカードでの支払い

「クレジットカードでの検定料支払方法」を参照のうえ、入学検定料をクレジットカードにてお支払いください。決済完了後に通知されるURLよりログインし、取扱明細書をプリントアウトのうえ、「収納証明書」部分を切り取り、収納証明書・振込通知書貼付用紙（本学所定用紙）に貼り付け提出してください。

・銀行窓口からの振り込み

該当の振込依頼書（本学所定用紙）を使用し、郵便局・ゆうちょ銀行以外の日本国内の金融機関窓口で入学検定料を振り込んでください。振り込んだ際に受け取った、振込通知書（大学院提出用）を、収納証明書・振込通知書貼付用紙（本学所定用紙）に貼付し、出願書類として提出してください。（ATM及びインターネットバンキング等は不可）。金額が訂正されたものや収納印がないものは無効です。なお、出願受付期間を過ぎてからは振り込みできません。また、窓口営業時間にご注意ください。

2. 出願受付後、入学検定料は返還いたしません。振り込んだが出願しなかった場合は、学務課にて返金の手続きをしてください。

## 出願手続および期間

出願は窓口受付、または郵送受付とします。

[窓口受付]

2022年8月18日(木)～8月19日(金) 窓口受付時間内

出願者は、出願書類一式を封筒に入れ(封をすること)、相模原事務部学務課(B棟1階 スチューデントセンター)に設置してある、所定の提出BOXに提出すること。受験票は、後日学務課窓口にて配布します。受験票の郵送受取を希望する者は、返信用封筒(要切手貼付、送付先記入)を出願書類に同封すること。

[郵送受付]

2022年8月19日(金) 消印有効。これを過ぎた消印のものは受理せず返送します。

郵送の場合は、必ず書留郵便とし、出願書類一式を同封のうえ送付してください。受験票は、後日学務課窓口にて配布します。受験票の郵送受取を希望する者は、返信用封筒(要切手貼付、送付先記入)を出願書類に同封すること。

[送付先] 青山学院大学 相模原事務部学務課  
理工学研究科入学願書受付係宛  
〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1  
TEL 042-759-6033(ダイヤル)

**※疾病・負傷や身体障害のために、受験及び修学上特別の配慮を必要とする者は、出願前に必ず学務課理工学研究科入学願書受付係までご連絡ください。**

## 受験票配布期間

出願者は、以下の配布期間に学務課窓口にて必ず受験票を受け取ること。受験票が無いと、当日試験を受験できないので注意すること。受験票の受け取りには、本人確認書類(学生証、運転免許証等)が必要なため、必ず持参すること。郵送により受験票の受け取りを希望する者は、返信用封筒(要切手貼付、送付先記入)を出願書類に同封すること。

[窓口配布期間] 2022年8月25日(木)・26日(金) ※窓口開室時間に限る

## 入学試験日

2022年9月2日(金)・3日(土)

## 入学試験場

試験は、青山学院大学相模原キャンパスで実施します。

試験教室等の詳細は、試験当日にN棟1階の理工学研究科掲示板に掲示します。

## 試験科目および試験時間

入学試験の試験科目は、共通科目（「英語」および「数学」）と専門科目（「筆記試験」および「口述試問」）です。専門科目の試験では、コースごとに出題分野等が異なるので注意が必要です。なお選考には、さらに「書類審査」が加わります。

### 9月2日(金) 共通科目

英 語 : 10:00 ~ 11:30  
数 学 : 13:00 ~ 14:30

### 9月3日(土) 専門科目

筆記試験 : 10:00 ~ 12:00  
口述試問 : 14:00 ~

## 共通科目の内容

英 語 ……… 長めの英文読解を中心として、英作文、イディオム、語彙力など英語の総合力を問う出題を予定。  
数 学 ……… 線形代数、一変数及び二変数の微分・積分、微分方程式の分野から出題。

## 専門科目の内容

※印で記載されているものは、受験にあたって筆記用具の他に使用が許可される内容です。  
ただし、試験当日に貸し出しは行ないませんので、該当者は必ず持参してください。

筆記試験 ……… 各コース次のとおりです。

(注) 各コースとも「専門フロンティアプログラム」と「複合フロンティアプログラム」両方の募集を行います。

### 基礎科学コース

専門フロンティアプログラム志願者： 代数、幾何、解析、集合と位相、複素解析、確率論、力学、電磁気学、量子力学、統計力学、物性物理学、高エネルギー物理・相対論などの分野から出題。3問を選択。

複合フロンティアプログラム志願者： 小論文形式の問題1問に加え、上記（専門フロンティアプログラム志願者用）の分野から2問選択。

### 化学コース

専門フロンティアプログラム志願者： 物理化学、無機・分析化学、有機化学の3系列から出題。試験当日にこれら3系列から2系列を選択。

複合フロンティアプログラム志願者： 小論文形式の問題を1問。

### 機能物質創成コース

専門フロンティアプログラム志願者：

選択必須問題： 物性物理学、固体化学、電子物性学から必ず1問を選択。

選 択 問 題： 物理分野（力学、電磁気学、量子力学、統計力学）、化学分野（有機化学、物理化学、無機・分析化学）、電気電子分野（電磁気学、電気回路、電波工学、情報・通信工学、電気電子計測、電子回路、制御工学、パワーエレクトロニクス）から合計2問選択。

複合フロンティアプログラム志願者： 小論文形式の問題1問。

### 生命科学コース

専門フロンティアプログラム志願者： 生命科学分野（生化学、分子生物学、生体物質分析、バイオインフォマティクス）、及び基礎科学分野（力学、電磁気学、量子力学、統計力学）から3問選択。

複合フロンティアプログラム志願者： 小論文形式で、英文、和文各1問を出題。

### 電気電子工学コース

必 須 問 題： 電磁気学、電気回路の各1問。

選 択 問 題： 電波工学、情報・通信工学、電気電子計測、電子回路、制御工学、パワーエレクトロニクス、電気・電子物性学より3問選択。

### 機械創造コース

専門フロンティアプログラム志願者：

系 ABC の中から一つの系の全ての問題を回答（括弧内は代表的科目名称）

系 A：材料系（材料、材料力学）

系 B：熱流体系（熱力学、流体力学）

系 C：機械制御系（機械力学、制御工学）

※電卓（関数計算の機能を有するもので、式の記憶機能を持たないもの）を持参。

複合フロンティアプログラム志願者：小論文形式の問題1問。

### 知能情報コース

専門フロンティアプログラム志願者： ネットワーク、ロボット工学、ヒューマンインタフェース、情報数学、数値計算法、ソフトウェア設計、データ構造とアルゴリズム、マルチメディア工学、デジタルメディア設計から2分野選択。

複合フロンティアプログラム志願者： 小論文形式の問題1問に加え、上記（専門フロンティアプログラム志願者用）の分野から1分野選択。

#### マネジメントテクノロジーコース

専門フロンティアプログラム志願者： 3 専門分野（データ分析技術、モデル化技術、最適化技術）の中から研究を希望する専門分野を含む 2 分野の問題を選択。

※電卓（関数計算の機能を有するもので、式の記憶機能を持たないもの）を持参。

複合フロンティアプログラム志願者： 今後進めていきたいと考えている研究テーマの社会的位置づけや背景、及び研究の進め方に関連した内容についての小論文に加え、上記（専門フロンティアプログラム志願者用）の分野から 1 問選択。

**口述試問** ……… 特記事項のあるコースは次のとおりです。

**化学コース**★ 各自の研究内容に関する質疑応答などです。

#### **機能物質創成コース**★

受験者自身の卒業研究などに関する発表を課します。発表時間は 10 分以内です。  
発表に液晶プロジェクターが使用できます。

#### **電気電子工学コース**★

大学院進学のための目的、卒業研究の内容、大学院で取り組みたい研究の内容などに関する質疑応答を行います。

#### **機械創造コース**★

受験者自身の卒業研究（または卒業製作など）に関する、プレゼンソフトを用いた発表を課します。発表時間は 5 分以内です。発表用プロジェクター、HDMI/VGA ケーブル、投影用スクリーン、黒板が会場に用意されています。

**知能情報コース**★ 各自の研究内容に関する質疑応答などです。

**マネジメントテクノロジーコース**★ 各自の研究内容に関する質疑応答などです。

## 合格発表

合格発表は、本学ウェブサイトにて行います。

【合格発表日】

2022 年 9 月 9 日（金） 13:00

【合格発表ページ URL】

<https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/information/index.html>

## 入学手続

- 手続は窓口または郵送受付とします。ただし、今後の状況により、郵送受付のみとなる可能性があります。
- 合格者には、出願時に提出したレターパックライトにて、入学手続書類を郵送いたします。所定の期間内に必要書類を提出し、入学手続を完了してください。
- 手続書類は12月中に投函します。2023年の年明け以降も書類が届かない場合には、相模原事務部学務課（ダイヤルイン 042-759-6033）にお問い合わせください。下記期日以降は理由の如何を問わず受け付けませんので、充分注意してください。
- なお、期間中に手続きをしない者は入学を辞退したものと見なします。
- 入学手続に関する詳細は、「入学手続要項」でご確認ください。

**入学手続締切日 : 2023年1月27日（金）までの消印有効**

**【注意】** 郵送には本学所定の封筒を使用すること（書留・速達）。消印の日付が締切日を過ぎたものは受理せず、返送します。

## 学費等納入額の内訳について

2023年度学費等は現在未定のため、改定された場合は改定後の金額となります。

学費等納入額内訳（2022年度参考）

	費目	金額	備考
学 費	入学金	※ 290,000円	入学時のみ(ただし本学出身者は0円)
	授業料	333,000円	年額666,000円
	在籍基本料	40,000円	年額80,000円
	施設設備料	50,000円	年額100,000円
	教育活動料	40,000円	年額80,000円
	小計	753,000円	(ただし本学出身者は463,000円)
諸 会 費	後援会費	2,500円	年額5,000円
	◎ 校友会費	30,000円	入学時のみ(ただし本学出身者は0円)
	理工学会費	2,000円	年額4,000円
	小計	34,500円	
	入学時納入金合計	787,500円	(ただし本学出身者は467,500円)
	初年度納入金合計	1,255,000円	

◎印の校友会費については、退学、除籍時に申請により、校友会本部事務局（校友センター）において全額の返還をうけることができます。

## 備 考

### 1. 入学手続の納入金額について

入学手続時 納入金額 787,500円（後期分学費等を含まず）  
（ただし本学出身者は467,500円）

後期分授業料は、入学後、後期に納入してください。なお、入学手続時に後期授業料を併せて納入することもできます。

### 2. 学費等の改定について

今後、経済情勢に応じ学費等の改定が行なわれた場合は、在学生にも改定後の学費等を適用することがあります。

### 3. 「入学辞退願」提出について

本大学院の入学手続を完了した後、やむを得ぬ事情により入学辞退することになった場合、「入学辞退願」が2023年3月31日16:00までに受理されたものは、入学金を除く納入金を返還いたします。詳しくは、合格発表時にお渡しする「入学手続要項」をご覧ください。

## 一般的注意事項

1. 一旦受け付けた書類、入学検定料は一切返還しません。
2. 受験票が試験当日までに未着の場合および紛失した場合は、相模原事務部学務課窓口（B棟1階 スチューデントセンター）で受験票を再発行しますので身分証明書等を持参してください。なお、受験中は常に受験票を机の上に置いてください。
3. 受験者は試験当日、N棟1階の理工学研究科掲示板で受験教室や伝達事項を必ず確認してください。
4. 試験開始10分前までに試験場に入室してください。筆記試験については、自分の受験番号ラベルが貼付された机に着席してください。
5. 試験開始から20分以上遅刻した者は、当該試験科目以降全ての受験資格を失います。
6. 課された試験のすべてを受験する必要があります。なお、一科目でも欠席した者は、不合格とします。また、各科目の終了時間までは退室を認めません。
7. 携帯電話等の電子機器類は試験場内では使用を禁止します。時計としての使用も禁止します。一般的な時刻表示以外の機能を持つ時計も使用できません。  
ただし、この「大学院学生募集要項」に使用許可されるものの記載がある場合に限り、限定的に許可されます。
8. 問い合わせ先は、内容により次のとおりです。ただし、可否に関しては一切応じられません。
9. 出願資格1に該当するもののうち「学士の学位を2023年3月までに取得見込の者」で合格し、入学手続を完了していても、2023年3月までに学士の学位を授与されない場合は、入学を許可しません。

相模原事務部学務課 理工学研究科担当  
TEL 042-759-6033 (ダイヤル)

## 連携大学院方式について

連携大学院方式とは、青山学院大学大学院理工学研究科（以下「大学院」という。）が国立・私立等の研究所等（以下「研究所」という。）と協定に基づき連携をして、研究所の研究者を本学の客員教授または客員准教授（以下「客員教員」という。）として委嘱し、大学理工学研究科の学生（以下「大学院学生」という。）は最新の設備と機能を有する研究所において、それらの客員教員から修士論文および博士論文の研究指導等を受け、大学院の研究領域の拡大はもとより新たな学問領域の確立を図り、大学院教育を多様化することを目的とした制度です。

### 客員教員（指導教員）

本学大学院において必要とみとめられる研究分野について、研究所の研究員を客員教員として委嘱します。

### 大学担当教員（副指導教員）

本大学院の専任教員がこれにあたり、客員教員に協力して、大学院学生の研究指導等について補完的役割を担います。

### 大学院学生

本学大学院に在籍し、課程修了に必要な単位は本学で修得する。研究指導は原則として研究所において客員教員から受けることとなります。

### <2022年度連携大学院方式に伴う受入先>

独立行政法人 宇宙航空研究開発機構

独立行政法人 産業技術総合研究所

（注5）連携大学院方式による指導教員を希望する場合は、必ず出願前に該当する大学担当教員にお問い合わせください。なお、連携大学院方式による客員教員については、2022度の教員組織を参考に記載しております。

# 教 員 組 織

大学院理工学研究科

研究科長 長 秀雄

理工学専攻

専攻教務主任 鷺見 和彦

教務主任（基礎科学コース）

山崎 了

教務主任（化学コース）

杉村 秀幸

教務主任（機能物質創成コース）

春山 純志

教務主任（生命科学コース）

田邊 一仁

教務主任（電気電子工学コース）

外林 秀之

教務主任（機械創造コース）

横田 和彦

教務主任（知能情報コース）

山口 博明

教務主任（マネジメントテクノロジーコース）

熊谷 敏

# 1. 博士前期課程

## 理工学専攻

(☆印の付された研究指導教員は、「専門フロンティアプログラム」と「複合フロンティアプログラム」の両方担当しますが、その他は「専門フロンティアプログラム」のみの担当です。)

### 基礎科学コース

	研究指導教員	専門分野
教授	市原直幸	確率論、偏微分方程式論
	坂上貴洋	ソフトマター物理学
	坂本貴紀	重力波源の電磁波対応天体の探査
	☆谷口健二	表現論、球関数
	津田照久	複素領域の微分方程式、特殊函数
	中山裕道	位相幾何学、力学系、微分位相幾何学
	西山享	表現論、調和解析、離散数学
	前田はるか	原子物理学実験、量子制御、極低温リユードベリ原子・プラズマ
	☆増田哲	非線形可積分系
	☆松川宏	摩擦の物理
	松本裕行	確率論、微分方程式論
	山崎了	宇宙物理学、高エネルギー天文学
	☆吉田篤正	宇宙物理学、トランジェント天体
准教授	中田行彦	遅延微分方程式、数理生物学
	松田能文	位相幾何学、幾何学的群論
	山中卓	数理ファイナンス
客員教授 (連携大学院方式)	吉田哲也	気球工学、宇宙粒子物理学、素粒子物理学実験 (大学担当教員は坂本 貴紀教授)
コース兼担教授	富重道雄	生物物理学、一分子計測、生体分子機械
	☆古川信夫	物性理論、新規機能性物質の材料設計
	担当教員	担当科目
教授	市原直幸	確率過程論、計算数学特論
	坂上貴洋	統計物理学特論 A・B
	坂本貴紀	宇宙物理特論 A・C、宇宙放射線特論、データ解析特論
	谷口健二	リー群論、表現論
	津田照久	応用数学特論、組合せ論
	中山裕道	位相幾何学、力学系
	西山享	表現論、組合せ論
	前田はるか	量子力学特論
	増田哲	関数方程式論、非線形数理
	松川宏	場の理論 A・B
	松本裕行	スペクトル理論、確率過程論
	山崎了	一般相対論、宇宙物理特論 A・B、データ解析特論
	吉田篤正	宇宙物理特論 A、データ解析特論
准教授	中田行彦	関数方程式論
	松田能文	力学系、位相幾何学
	山中卓	離散数学、計算数学特論
	研究指導教員共通	物理科学特別輪講(A~D)、数理科学特別輪講(A~D)、理工学特別実験・演習(A~D)

### 化学コース

	研究指導教員	専門分野
教授	阿部二郎	量子化学、物性化学、機能物質化学
	坂本章	物理化学、分子分光、構造化学
	杉村秀幸	天然物合成化学、生体機能分子の設計と合成

	鈴木 正	物理化学、レーザー光化学
	武内 亮	有機化学、有機合成化学、有機金属化学
	☆長谷川 美貴	錯体化学、ランタニド錯体の光化学
准教授	☆中田 恭子	理論化学、固体物性理論、ナノ炭素材料
	担当教員	担当科目
教授	阿部 二郎	量子化学特論
	坂本 章	構造化学特論
	杉村 秀幸	天然物化学特論
	鈴木 正	光化学特論
	武内 亮	有機化学特論
	長谷川 美貴	錯体の材料科学特論
准教授	中田 恭子	ナノ炭素材料の理論
	研究指導教員共通	化学特別輪講（A～D）、理工学特別実験・演習（A～D）

### 機能物質創成コース

	研究指導教員	専門分野
教授	北野 晴久	物性物理学、超伝導と電荷秩序、マイクロ波物性
	澤邊 厚仁	固体電子物性、電子薄膜材料の合成と解析
	重里 有三	固体化学、高度な機能を有する無機薄膜材料の創成
	下山 淳一	固体欠陥化学、新機能材料創成、新超伝導物質開発
	春山 純志	メソスコピック系の物理学、量子ナノデバイスの開発
	☆古川 信夫	物性理論、新規機能性物質の材料設計
	☆三井 敏之	表面科学、生物物理学
客員教授 (連携大学院方式)	竹 歳 尚之	ナノ薄膜・界面の熱物性、薄膜・微小領域熱物性計測技術の開発 (大学担当教員は重里 有三教授)
	八木 貴志	固体物理学、熱物性解析 (大学担当教員は重里 有三教授)
客員准教授 (連携大学院方式)	山下 雄一郎	材料科学、固体物理学、材料データベース (大学担当教員は重里 有三教授)
	担当教員	担当科目
教授	北野 晴久	固体物理学特論 I
	澤邊 厚仁	無機材料特論、電子物性特論
	重里 有三	無機薄膜工学特論
	下山 淳一	固体物理学特論 II、物質科学特論
	春山 純志	ナノサイエンス特論
	古川 信夫	基礎固体電子特論 I・II
	三井 敏之	表面と表面計測
	研究指導教員共通	機能性物質の基礎と応用、物質科学特別輪講(A～D)、物質工学特別輪講(A～D)、理工学特別実験・演習(A～D)

### 生命科学コース

	研究指導教員	専門分野
教授	☆阿部 文快	分子生物学、生化学、生物物理学、圧力生理学、分子遺伝学
	☆木谷 茂	応用微生物学、天然物化学、生化学、分子生物学
	☆諏訪 牧子	バイオインフォマティクス、計算生物学、生物物理学、ゲノム情報学、生命情報に基づくタンパク質の構造・機能予測
	☆田邊 一仁	生体分析化学、分子イメージング、生物有機化学、核酸化学
	富重 道雄	生物物理学、一分子計測、生体分子機械
	☆平田 普三	生化学、分子生物学、細胞生物学、発生生物学、生理学、脳科学、疾患、老化
コース兼教授	☆三井 敏之	表面科学、生物物理学
	担当教員	担当科目
教授	阿部 文快	最先端生命科学入門、微生物分子生物学、生命科学研究法 B
	木谷 茂	タンパク質科学特論、構造生化学、生命科学研究法 B
	諏訪 牧子	ゲノム情報科学、バイオインフォマティクス特論、生命科学研究法 A
	田邊 一仁	生体機能分析、生命機能化学、生命科学研究法 A、科学技術倫理
	富重 道雄	生体分子イメージング、生体分子機械論、生命科学研究法 A

平 田 普 三 生化学・分子生物学概論、細胞生物学、神経科学、生命科学研究法 A  
 コース兼任教授 三 井 敏 之 生命科学研究法 B  
 研究指導教員共通 生命科学特別輪講(A～D)、理工学特別実験・演習(A～D)

電気電子工学コース

研究指導教員				専 門 分 野
教 授	黄	晋	二	電子デバイス工学、結晶成長
	外	林	秀	光ネットワーク、光センシング
	地	主	創	情報・通信理論
	野	澤	昭	生体計測工学
	松	谷	康	アナログ・デジタル回路、集積回路
准 教 授	☆米	山	淳	制御工学、システム理論
	石	河	泰	固体電子物性工学、薄膜デバイス
	須	賀	良	マイクロ波工学、環境電磁工学
	松	本	洋	パワーエレクトロニクス
担 当 教 員				担 当 科 目
教 授	黄	晋	二	電子物性工学特論、電子物性・材料特論Ⅱ
	外	林	秀	信号処理特論、スイッチング回路特論
	地	主	創	情報工学特論、電子通信特論
	野	澤	昭	福祉工学、生体電子工学特論
	松	谷	康	電子回路特論、アナログデジタル回路特論
准 教 授	米	山	淳	電子制御特論、インテリジェント制御システム
	石	河	泰	半導体工学特論、電子物性・材料特論Ⅰ
	須	賀	良	マイクロ波、ミリ波計測特論、環境電磁工学特論
	松	本	洋	パワーエレクトロニクス特論、モータードライブ特論
研究指導教員共通				電気電子工学特別輪講(A～D)、理工学特別実験・演習(A～D)

機械創造コース

研究指導教員				専 門 分 野
教 授	☆熊	野	寛	熱・環境工学、伝熱工学、蓄熱技術
	☆菅	原	佳	機械力学、制御工学、航空宇宙工学、ロボット工学
	☆長	秀	雄	材料科学、超音波計測、非破壊評価
	☆麓	耕	二	熱流体工学、エネルギー変換工学、生体熱工学
	☆横	田	和	航空宇宙原動機学、数値・実験・理論流体力学、ターボ機械学
	☆米	山	聡	材料力学、実験力学
准 教 授	☆渡	邊	昌	流体関連振動、流体構造連成力学、振動工学
	☆田	崎	良	生産加工、人間ロボット共生、システム制御工学
	☆蓮	沼	将	材料強度学、金属疲労、マルチスケール解析
客員教授 (連携大学院方式)	徳	川	直	流体力学 (大学担当教員は横田 和彦教授)
	後	藤	健	宇宙構造、材料工学、複合材料工学 (大学担当教員は米山 聡教授)
客員准教授 (連携大学院方式)	森		治	宇宙機システム、宇宙機の動力学・制御 (大学担当教員は菅原 佳城教授)
	熊	澤	寿	構造力学、材料力学、航空宇宙工学 (大学担当教員は蓮沼 将太准教授)
担 当 教 員				担 当 科 目
教 授	熊	野	寛	伝熱工学特論
	菅	原	佳	機械制御特論
	長	秀	雄	超音波・レーザ計測特論
	麓	耕	二	輸送現象特論、製品安全と社会制度
	横	田	和	流体力学特論、リスクベース安全工学
	米	山	聡	材料力学特論
准 教 授	渡	邊	昌	機械力学特論
	田	崎	良	生産加工特論
	蓮	沼	将	材料工学特論
研究指導教員共通				機械創造特別輪講(A～Dいずれか)、理工学特別実験・演習(A～D)

## 知能情報コース

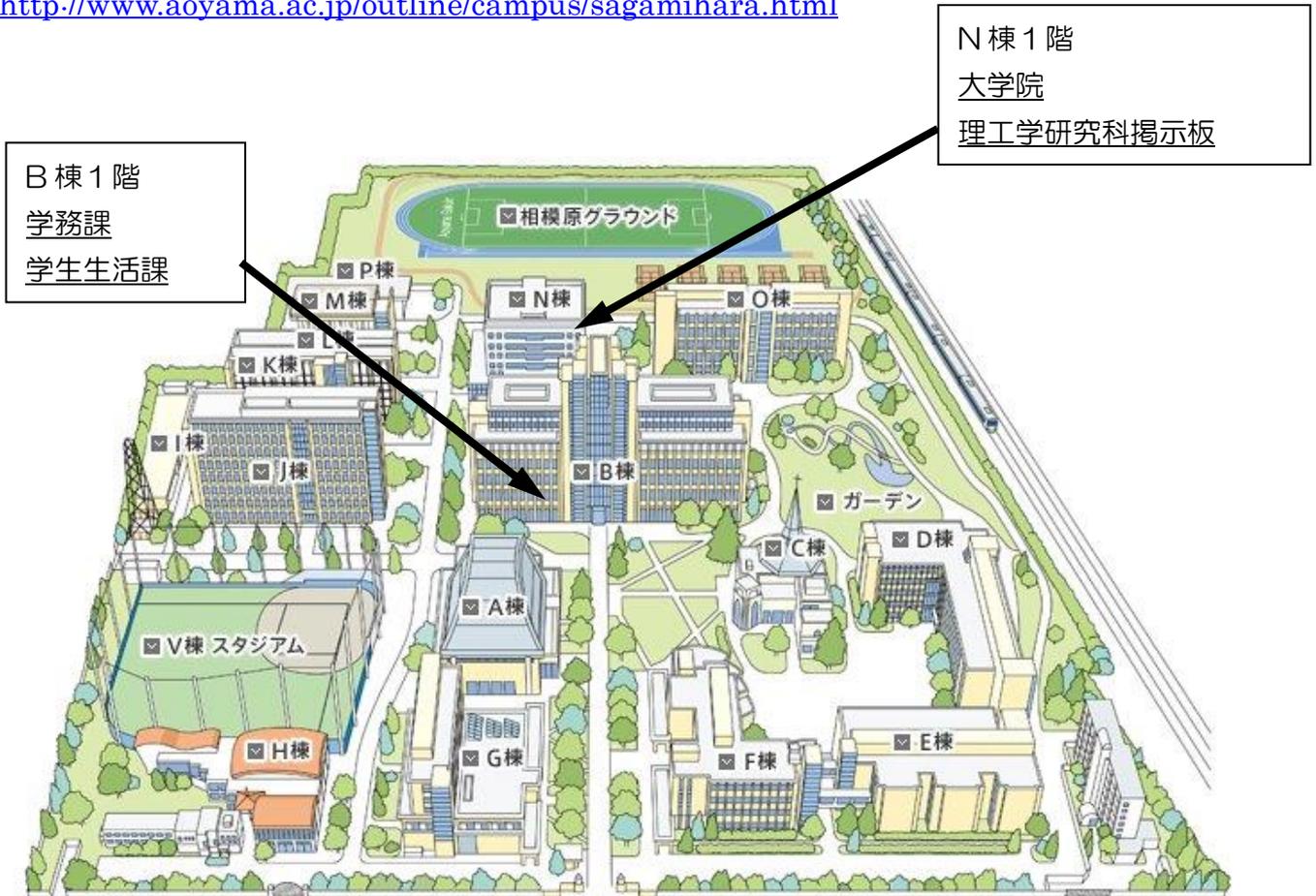
研究指導教員		専門分野
教 授	☆Dürst, Martin J.	ワールドワイドウェブ、ソフトウェアの国際化、ソフトウェア科学
	☆Lopez, Guillaume F.	ウェアラブルコンピューティング、人間情報学
	☆伊 藤 雄 一	ヒューマンコンピュータインタラクション、無意識コンピューティング、バーチャルリアリティ
	☆大 原 剛 三	発見科学、データマイニング、機械学習、社会ネットワーク分析
	☆鷺 見 和 彦	パターン認識 (画像認識・画像理解・コンピュータビジョン)、セキュリティ (映像セキュリティ・生体個人認証)
	☆戸 辺 義 人	情報通信工学、実世界コンピューティング
	中 園 嘉 巳	生体情報学、神経生理学
准 教 授	☆山 口 博 明	ロボット工学、制御工学、メカトロニクス
	楽 詠 瀬	コンピュータグラフィックス、レンダリング、アニメーション、デジタルファブリケーション、物理シミュレーション、計算統計
	☆森 田 武 史	知識工学、オントロジー工学、セマンティックウェブ、ウェブインテリジェンス、知能ソフトウェア工学、課題解決型演習
担 当 教 員		担 当 科 目
教 授	Dürst, Martin J.	ワールドワイドウェブ特論、ソフトウェア特論
	Lopez, Guillaume F.	スマートメディア特論、ウェアラブルメディア特論、課題解決型演習
	伊 藤 雄 一	ヒューマンインタフェース特論、バーチャルリアリティ特論
	大 原 剛 三	発見科学特論、データサイエンス特論、課題解決型演習、機械学習アルゴリズム応用演習
	鷺 見 和 彦	先端コンピューティング特論、情報セキュリティ特論、課題解決型演習、先端データ分析特論
	戸 辺 義 人	インターネット特論、無線通信システム特論
	中 園 嘉 巳	生体運動学、身体性知能論
准 教 授	山 口 博 明	非線形制御、ロボット工学特論
	楽 詠 瀬	コンピュータアニメーション特論、コンピューターショナルデザイン特論
	森 田 武 史	人工知能特論、知能ソフトウェア科学特論
	研究指導教員共通	知能情報特別輪講 (A~D)、理工学特別実験・演習 (A~D)

## マネジメントテクノロジーコース

研究指導教員		専門分野
教 授	☆石 津 昌 平	品質情報システム、評価構造、品質管理技術、経営品質評価、品質管理教育
	☆大 内 紀 知	イノベーション・マネジメント、技術経営学、データ分析
	☆小野田 崇	機械学習、設備診断・サイバーセキュリティ、人工知能、ビッグデータ解析
	☆熊 谷 敏	経営工学、経営管理システム
	☆栗 原 陽 介	システム工学、情報工学、計測工学、信号処理
	☆宋 少 秋	組合せ最適化、ゲーム理論、オペレーションズ・リサーチ
	☆松 本 俊 之	インダストリアル・エンジニアリング、改善技術、生産情報システム
准 教 授	☆水 山 元	生産システム工学、生産管理、集合知
	☆小 林 和 博	数理工学、数理最適化、サイバーフィジカルシステム
担 当 教 員		担 当 科 目
教 授	石 津 昌 平	品質情報システム特論 I・II
	大 内 紀 知	意思決定特論 I・II、統計的データ分析基礎演習
	小野田 崇	統計的機械学習特論 I・II、統計的データ分析基礎演習、課題解決型演習、機械学習アルゴリズム応用演習
	熊 谷 敏	経営管理システム特論 I・II
	栗 原 陽 介	システム工学特論 I・II
	宋 少 秋	組合せ最適化特論 I・II
	松 本 俊 之	カイゼンマネジメント特論 I・II
准 教 授	水 山 元	協働システム特論 I・II
	小 林 和 博	数理最適化特論 I・II
	研究指導教員共通	マネジメントテクノロジー特別輪講 (A~D)、理工学特別実験・演習 (A~D)

相模原キャンパス建物配置図

<http://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/sagamihara.html>



B 棟 1 階  
学務課  
学生生活課

N 棟 1 階  
大学院  
理工学研究科掲示板

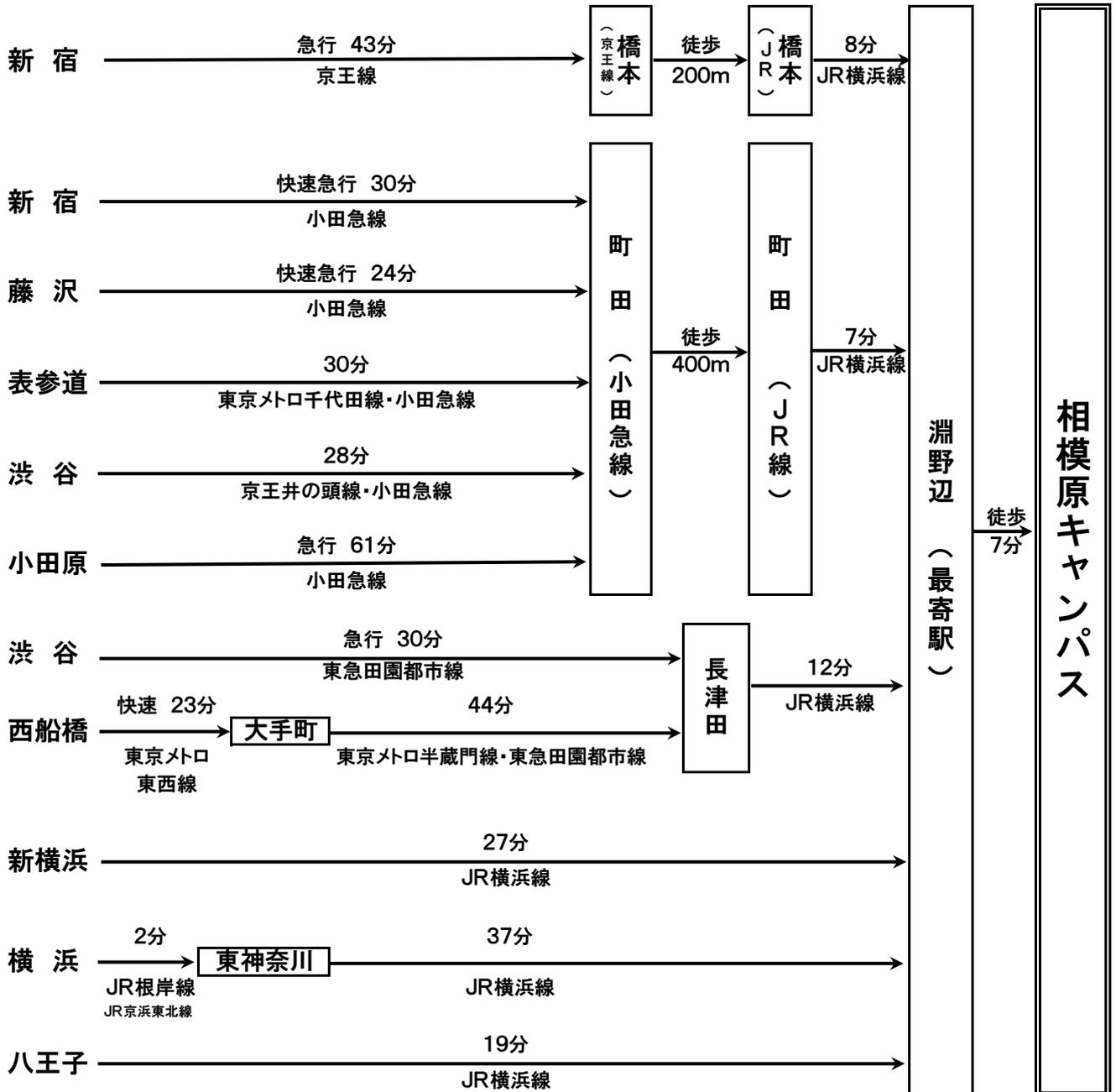
正門

- A棟 アリーナ    ■ B棟 メディアセンター    ■ C棟 ウェスレー・チャペル    ■ D棟    ■ E棟
- F棟    ■ G棟    ■ H棟 健康管理施設    ■ I棟 大型実験施設    ■ J棟 理工学部
- K棟 先端技術研究開発センター(CAT)    ■ L棟 理工学部    ■ M棟    ■ N棟    ■ O棟
- P棟 屋内練習場    ■ V棟 スタジアム    ■ ガーデン    ■ 相模原グラウンド

# 交通関係について

## 交通アクセス・所要時間

(パソコンソフト「駅すばあと」より。所要時間に乗換え時間は含まれていません。)



\* 淵野辺駅は各駅停車駅です。特急、快速を停車しません。

**[京王線を利用する場合]** 京王相模原線橋本駅からJR横浜線橋本駅までは約200mです。また、朝夕の通勤・通学時間帯は混雑しますので、乗り換えに時間がかかることを考慮に入れてください。

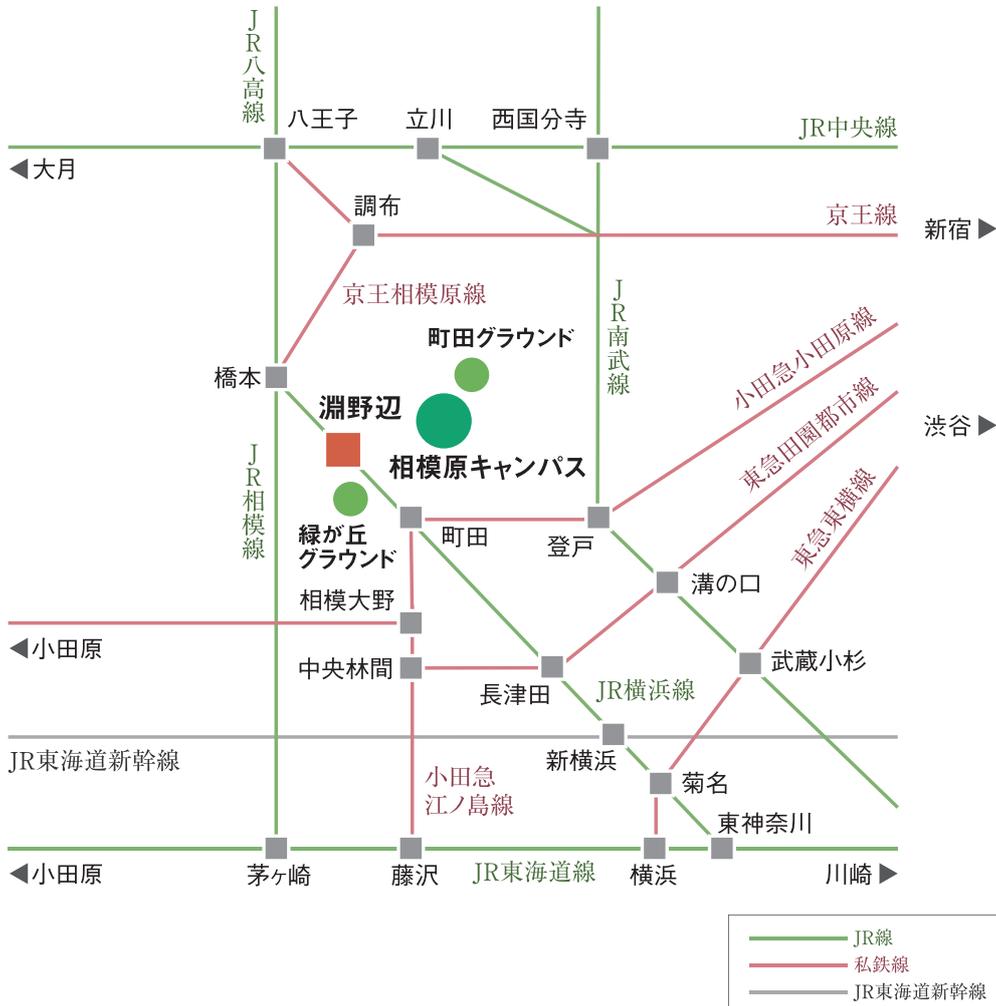
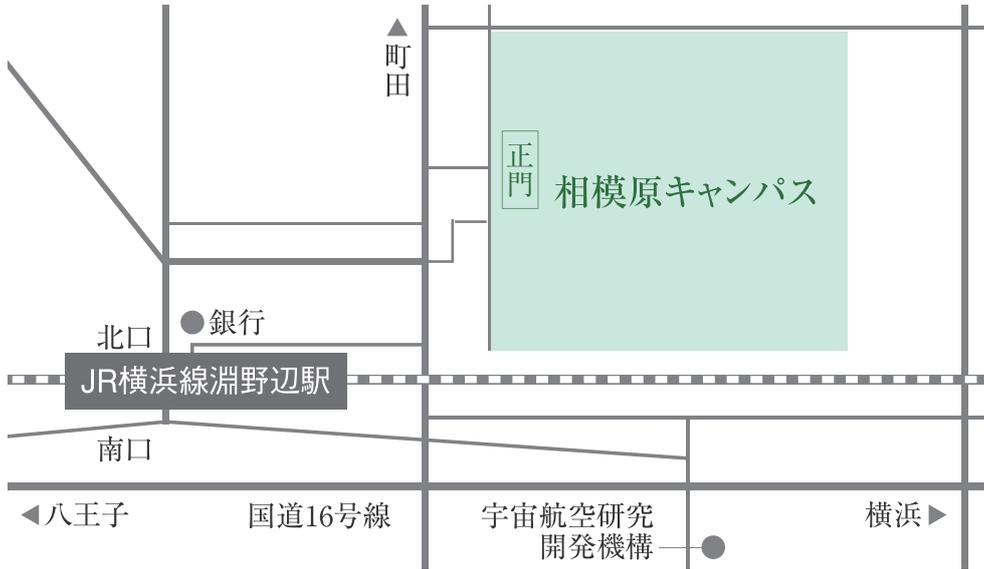
**[JR横浜線を利用する場合]** 各駅停車の多くは、東神奈川駅が始発となっています。横浜駅発着の各駅停車は少ないので、横浜駅を利用する方は注意してください。

**[小田急線を利用する場合]** 小田急線町田駅までは約400mです。また、朝夕の通勤・通学時間帯は混雑しますので、乗り換えに時間がかかることを考慮に入れてください。

# 相模原キャンパス

〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺5-10-1

JR横浜線「淵野辺駅」より徒歩7分



# クレジットカードでの検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!

クレジットカードを利用して検定料のお支払いが可能です。



PCで下記にアクセス

<https://e-apply.jp/e/gs-aoyama>

インターネット申込  
クレジットカード決済

1. トップページ

「申し込む」ボタンをクリック

2. 研究科選択

研究科を選択してください。

3. 入試選択

受験される入試を選択して「次へ」ボタンをクリック

4. 留意事項

留意事項の内容を確認・同意して「次へ」ボタンをクリック

5. 基本情報入力

申込者本人の基本情報を入力し「個人情報取扱方法」に同意し「次へ」ボタンをクリック

6. 申込内容確認

申込された情報を確認し、問題なければ「申し込む」ボタンをクリック

7. 受付番号確認

受付番号(12桁)を控え、「次へ」ボタンをクリック  
(登録されたメールアドレスにも通知されます。)

8. クレジットカード情報入力

支払に利用するクレジットカード番号(16桁)等必要な情報を入力し、「クレジットカードにて支払う」をクリック

\*お支払いされるカードの名義人は申込者本人以外でも構いません。

9. 決済完了

完了後に通知されるメールアドレスに記載のURLよりログインいただき、取扱明細書をプリントアウトしてください。

\*メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「登録時のメールアドレス」「生年月日」でログインしてください。

印刷した「収納証明書」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



必要書類



郵便局から  
郵送にて出願。



出願

## 【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は23:59までにカード決済を完了させてください。
- 検定料の他に、払込手数料(税込)が別途かかります。  
払込手数料(税込):30,000円未満…手数料 499円、30,000円以上50,000円未満…手数料 876円、50,000円…手数料 998円
- クレジットカードの名義人は、申込者本人以外でも構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。

- メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「登録時のメールアドレス」「生年月日」でログインしてください。
- 一度お支払された検定料は、出願後は一切返金できませんのでご注意ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

「クレジットカードでの検定料納入」について不明点がある場合は、トップページの「はじめに」から「お問い合わせ先」をご覧ください。  
「学び・教育サポートセンター」までお問い合わせください。

# コンビニ端末での入学検定料支払方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください

## 1 お申込み



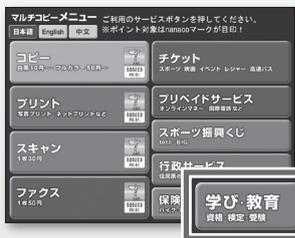
### マルチコピー機

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育



入学検定料等支払



LAWSON



<http://www.lawson.co.jp>

<http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「**各種サービスマニュー**」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン



学び・教育・各種検定試験



大学・短大、専門、  
小・中・高校等お支払い

お申込みの大学

をタッチし、申込情報を入力して「**払込票**／**申込券**」を発券ください。

\*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

## 2 お支払い

### ①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「**払込票**」(マルチコピー機)または「**申込券**」(Loppi)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**



### ②お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「**取扱明細書**」(マルチコピー機)または「**取扱明細書兼領収書**」(Loppi)。

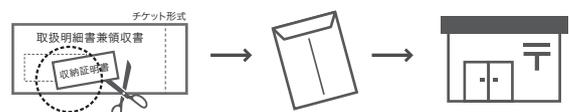


\*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。  
\*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。  
\*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	440円
	入学検定料が5万円以上	660円

## 3 出願

「**取扱明細書**」または「**取扱明細書兼領収書**」の「**収納証明書**」部分を切り取り、入試要項などの指示に従って郵送してください。



貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院スクール・モットー

青山学院大学大学院理工学研究科

〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1

電話 042-759-6033 (相模原事務部学務課)

## 出願書類チェックリスト

チェック欄	対象	提出書類	注意点・備考
	全員	志願票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導教員の印が押されているか</li> <li>・ 誓約欄に記名済か</li> </ul>
	全員	受験票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出願コースを記載しているか</li> <li>・ 該当するプログラムに○を付けているか</li> </ul>
	全員	成績証明書	
	全員	振込通知書貼付台紙	
	全員	レターパックライト (370円) (入学手続き書類発送用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「お届け先」欄に、入学手続き書類送付先住所を記入済か</li> </ul> ※本学→合格者 書類発送用です。
	該当者のみ	最終出身大学の卒業（見込）証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本学出身者は不要</li> </ul>
	該当者のみ	受験票返信用封筒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受験票を郵送にて受取希望の場合提出</li> <li>・ 切手貼付、送付先記入しているか</li> </ul>
	該当者のみ	研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複合フロンティアプログラムの志願者のみ提出</li> </ul>
	該当者のみ	学位取得証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出願資格9により出願する場合のみ提出</li> </ul>

# 青山学院大学大学院入学志願票 (9月入試)

**2023年度**

理工学研究科理工学専攻		受験 番号	*	
博士前期課程				
コース 専門フロンティアプログラム・複合フロンティアプログラム <small>(コースを記入し、該当するプログラムに○をしてください)</small>				
フリガナ	男 ・ 女	生年月日		写真貼付 1. 上半身正面脱帽 2. 最近3か月以内 撮影のもの 3. 4cm x 3cm 枠なし 4. 全面糊付 5. 写真裏面には 志望専攻、コース、 氏名を記入
氏名		西暦	年	
国籍		※国籍が日本の場合は、記入不要		
〒				
現住所		電話番号 ( )		携帯電話番号 ( )
				FAX. ( )
学歴(高等学校以降のすべての学歴を記入してください。) <span style="float: right;">西暦年月日で記載。</span>				
		高等学校	年	月 卒業
大学	学部	学科	年	月 入学
大学	学部	学科	年	月 卒業見込 卒業
			年	月
			年	月
			年	月
			年	月
職歴 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">非常勤・アルバイト・嘱託等の記入は不要。西暦年月日で記載。 ただし、年月の後に退職・在職中の別を記入してください。</span>				
		年	月 ~	年 月
		年	月 ~	年 月
		年	月 ~	年 月
		年	月 ~	年 月
本学出身者は必ず 右欄を記入してください	学生 番号			演習担当者 又は指導教員

**注意)** コース名の記入、及び「専門フロンティアプログラム」「複合フロンティアプログラム」のいずれか希望側に○印を忘れずに付してください。 (\*印は記入不要)

◎下記のすべての項目について必ず記入してください。

卒業論文題目
学部時における主な研究内容
入学後の研究主題及び研究計画の概要
研究指導を希望する教員名 (要項に記載された教員) ※捺印をいただくこと
修了後の希望進路(具体的に記入してください。)



振込金受取書  
(兼手数料) 入学検定料

2022年 月 日	円
金額	¥35,000
先方銀行	三井住友銀行 渋谷支店
受取人	普通預金 8404582 口座番号 (学) 青山学院検定(大学院B)
御依頼人	様
備考	手数料
上記の金額正に受け取りました。	収納印又は振替印
<銀行取扱期限日> 2022年 8月 19日	

(取扱店→御依頼人(志願者))

振込通知書(大学院提出用)  
入学検定料

2022年 月 日	円
金額	¥35,000
先方銀行	三井住友銀行 渋谷支店
受取人	普通預金 8404582 口座番号 (学) 青山学院検定(大学院B)
御依頼人	様
備考	
上記の通り振込みました。	収納印又は振替印
<銀行取扱期限日> 2022年 8月 19日	

(取扱店→御依頼人(志願者)→大学院)

振込依頼書

入学検定料

依頼日	2022年 月 日	電信扱	手数料	円
先方銀行	三井住友銀行 渋谷支店	金額	¥35,000	
受取人	普通預金 8404582 口座番号 ガクアオヤマガクインケンテイ(ガクインペー)		<銀行取扱期限日> ※ 2022年 8月 19日	
御依頼人	打電CD 501 カカケ氏名 漢字氏名		※期限後の取扱不可	
住所	(学) 青山学院検定(大学院B)		収納印又は振替印	
			※取扱銀行へお願い FB処理をしますので、打電CD・カカケ氏名の順序で打電して下さい。	

(取扱店保管)

手数料振込人負担

◎各欄の太枠の中だけボールペンでご記入下さい。

取扱銀行切取線

手締者切取線

キリトリ線

**①収納証明書** \*コンビニエンスストア支払いもしくはクレジットカードでの支払いの場合

貼付用紙

**②振込通知書 (大学院提出用)** \*金融機関から振込の場合

◎枠内を記入してください。

【入学検定料】

研究科 専攻	理工学研究科 理工学専攻	志願コース	コース
受験番号 (記入不要)		課 程 ○で囲む	博士前期 ・ 博士後期
フリガナ		連絡先	( )
氏 名			

※連絡先には日中連絡が付きやすい電話番号を記入のこと

- ①「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、はがれないように全面のり付けしてください。

**① 収納証明書 貼付欄**

はがれないように全面のり付けしてください。

- ②金融機関にて必要金額を振込後、振込通知書(大学院提出用)をはがれないように全面のり付けしてください。  
金融機関の収納印の無いもの、金額が訂正されたものは無効です。

**② 振込通知書  
(大学院提出用)  
貼付欄**

はがれないように  
全面のり付け  
してください。